

令和5年度

# 青森圏域重点事業に関する要望書

令和4年10月

青森市 平内町 今別町

外ヶ浜町 蓬田村

# 令和5年度青森圏域重点事業要望項目一覧

## 【最重要要望6項目】

No.	要 望 項 目	県 担 当 部 署	市 町 村 担 当 部 署	頁
1	青森駅周辺をはじめとする都市拠点の整備、鉄道の有効活用及び機能充実にに向けた取組について	企画政策部 交通部 通市湾 政計空 策画港 課課課	青森市 都市部 整備部 都道地 市園路 ス 政河建 策川設 課課課	1
2	青森県と青森市の共同経営・統合新病院整備について	健康福祉部 医療薬務 課	青森市 市民病院事務局 総務課 財政 務政 課	2
3	ホタテ残渣処理事業への協力について	農林水産部 水産部 水環境 産振政 興策全 課課課	平内町 水産商工観光課 平内町 町民 課	3
4	県道14号線 主要地方道今別蟹田線（平坦化整備）整備促進について	県土整備部 道路 課	今別町 産業建設課	4
5	世界遺産（北海道・北東北の縄文遺跡群）の保存・活用について	教育庁文化財保護課 観光国際戦略局 観光企画 課課	外ヶ浜町 教育委員会 社会教育課 世界遺産対策室	5
6	たままつ海岸の浚渫について	県土整備部 河川砂防 課	蓬田村 建設課	6



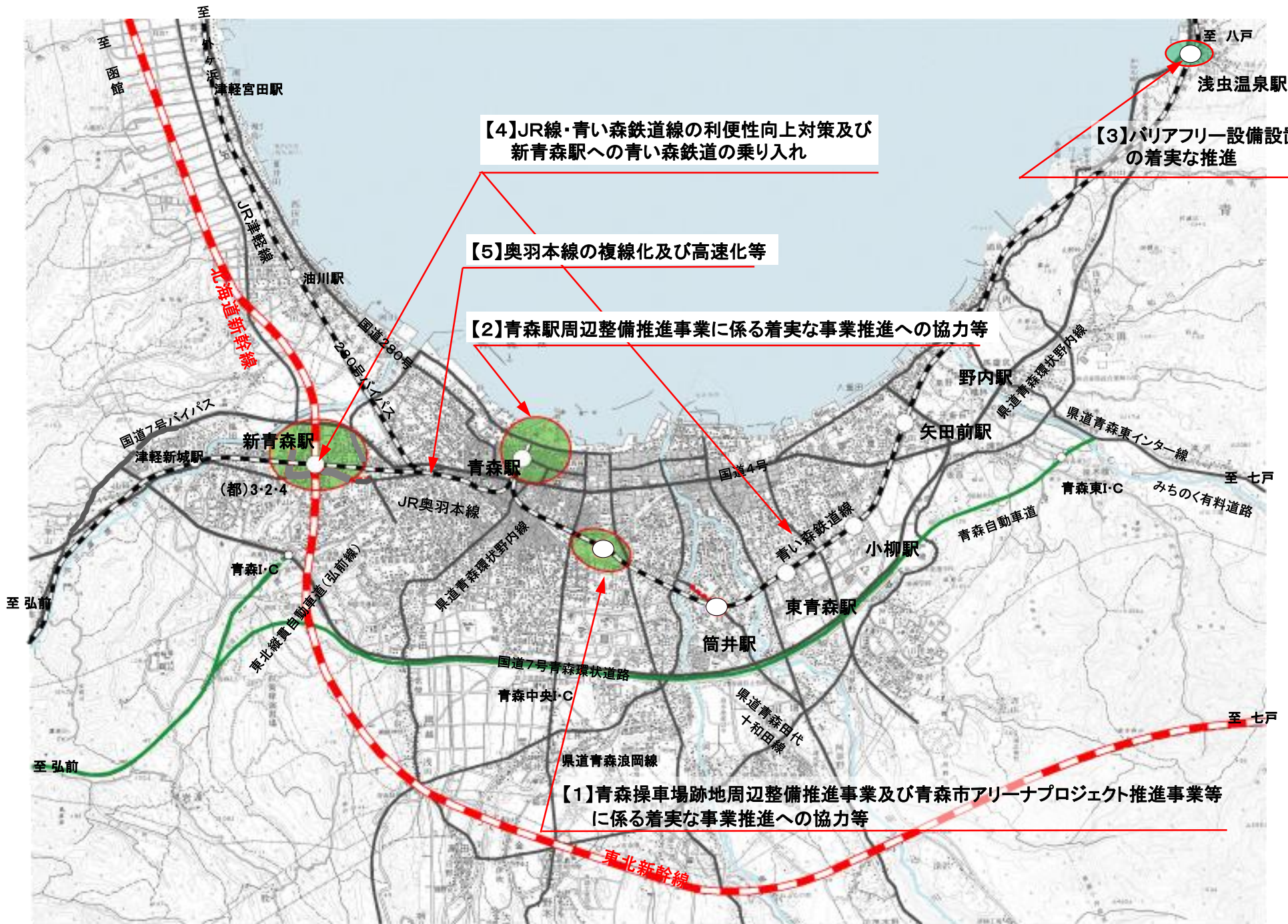
# 最重点要望項目

要望項目	青森駅周辺をはじめとする都市拠点の整備、鉄道の有効活用及び機能充実に向けた取組について（継続）		
要望先	国	国土交通省（鉄道局（総務課、幹線鉄道課、鉄道事業課、施設課）、都市局（市街地整備課、公園緑地・景観課））	
	県	企画政策部（交通政策課）、県土整備部（都市計画課、港湾空港課）	
	その他	東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社	
関係法令		事業主体	青森県、青森市、東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

要 望 事 項 の 内 容
<p>本市では、平成30年3月に策定した「青森市立地適正化計画」及び「青森市地域公共交通網形成計画」に基づき、『「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくり』として、都市の効率性を高めるコンパクトな複数の拠点づくりと、それらの拠点を接続する公共交通ネットワークを有機的に連携させることにより、市内各地域の特色を活かしつつ、持続可能な都市づくりを推進しています。</p> <p>このうち、都市機能誘導区域の1つである「操車場跡地周辺地区」においては、スポーツのみならず多様な催事ができる交流拠点としてアリーナ等の整備を進めており、令和6年7月の供用開始を目指して、現在、建設工事を実施しております。</p> <p>つきましては、特に重点的に進めるべきと思慮する次の事項について特段の御配慮をいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 青森操車場跡地周辺整備推進事業及び青森市アリーナプロジェクト推進事業等に係る着実な事業推進への協力並びに青い森鉄道線への新駅設置の早期実現</li> <li>2. 青森駅周辺整備推進事業に係る着実な事業推進への協力及び臨港道路西船線（1）の早期実現</li> <li>3. 青い森鉄道線浅虫温泉駅バリアフリー設備設置の着実な推進</li> <li>4. JR線・青い森鉄道線における利便性の高いダイヤ編成・輸送サービスの実現及び青い森鉄道線における新幹線新青森駅（JR奥羽本線）への乗り入れ</li> <li>5. JR奥羽本線（川部・青森間）の複線化及び高速化等利便性向上の早期実現</li> </ol>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
平成22年12月	東北新幹線「八戸・新青森間」開業、青い森鉄道線「八戸・青森間」開業
平成23年3月	青い森鉄道線 野内駅開業
平成24年2月	「青森駅を中心としたまちづくり基本計画」の策定
平成26年3月	青い森鉄道線 筒井駅開業
平成28年3月	北海道新幹線「新青森・新函館北斗間」開業
平成28年7月	「青森駅自由通路整備等に関する基本協定」の締結
平成30年3月	「青森市立地適正化計画」及び「青森市地域公共交通網形成計画」の策定
平成30年6月	「青森駅周辺のまちづくりに関する連携協定」の締結
平成30年7月	「青森駅自由通路整備等に関する工事の施行協定」の締結
平成30年9月	浅虫温泉駅バリアフリー設備設置可能性調査の実施
平成31年3月	「青森操車場跡地利用計画」の決定
令和元年7月	市民の新駅利用意向に関する調査データ等の県への情報提供
令和元年10月	青森操車場跡地周辺整備工事に着手
令和2年7月	浅虫温泉駅バリアフリー設備設置基本調査の実施
令和3年3月	（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業 本契約の締結
令和3年3月	青森駅自由通路供用開始
令和3年4月	（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業 設計業務に着手
令和3年7月	浅虫温泉駅バリアフリー設備設置実施設計の実施
令和4年4月	（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業 建設工事に着手
令和4年7月	浅虫温泉駅バリアフリー設備整備工事に着手

担当部署名	青森市 都市整備部都市政策課 青森市 都市整備部公園河川課 青森市 都市整備部道路建設課 青森市 経済部地域スポーツ課
-------	--



**【4】JR線・青い森鉄道線の利便性向上対策及び新青森駅への青い森鉄道の乗り入れ**

**【3】バリアフリー設備設置の着実な推進**

**【5】奥羽本線の複線化及び高速化等**

**【2】青森駅周辺整備推進事業に係る着実な事業推進への協力等**

**【1】青森操車場跡地周辺整備推進事業及び青森市アリーナプロジェクト推進事業等に係る着実な事業推進への協力等**

青森駅周辺整備をはじめとする都市拠点の整備、鉄道の有効活用及び機能充実に向けた取組について(継続)

要望項目	青森県と青森市の共同経営・統合新病院整備について（新規）		
要望先	国	厚生労働省（医政局地域医療計画課）	
	県	健康福祉部（医療薬務課）	
	その他		
関係法令	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律	事業主体	青森県、青森市

要 望 事 項 の 内 容
<p>青森県立中央病院と青森市民病院は、地域において急性期医療や政策医療の基幹的役割を担っていますが、両病院において医師をはじめとした医療従事者を十分に確保していくことが難しいほか、施設の老朽化・狭隘化、経営基盤の強化、新興感染症対策への対応など多くの課題を抱えています。</p> <p>このような状況の中、青森県と青森市で協議を進め、人口減少や医療従事者不足、さらには新興感染症対策など地域医療を取り巻く課題や多様な医療ニーズなどに対応し、持続可能な、そして、強い医療提供体制を構築していくためには、両病院の機能・資源を集約・充実していくことが重要であると考え、両病院のあり方について、「青森県と青森市の共同経営による統合病院を新築整備する」との基本方針を県知事と市長が表明しました。</p> <p>当該基本方針に基づき、令和4年4月から「青森県病院局・青森市民病院事務局合同検討チーム」を設置し、検討を進めるとともに、青森県と青森市の関係部局で構成する「共同経営・統合新病院整備調整会議」での調整を経て、令和4年8月、共同経営・統合新病院整備の方向性について「共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項（案）」を取りまとめました。</p> <p>今後は、共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項（案）を踏まえ、令和5年度中を目途に、共同経営・統合新病院に係る基本構想・計画を策定することとしており、当該計画策定後は早期開院に向け、基本設計や実施設計などの所要の準備を進めていくこととしています。</p> <p>また、新病院の整備に当たっては、その規模等において、本体工事費のほか、医療機器等の整備費も含め多額の事業費が見込まれます。</p> <p>つきましては、本市財政負担軽減の観点、新病院の経営安定化の観点から、次の事項について特段の御配慮をいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 青森県・青森市の共同経営・統合新病院整備の着実な推進</li> <li>2. 県の「地域医療介護総合確保基金」等を活用した青森県・青森市の共同経営・統合新病院整備についての財政支援</li> </ol>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
令和3年11月 県立中央病院と青森市民病院のあり方検討協議会からの提言	
令和4年2月 県知事と市長の県立中央病院と青森市民病院のあり方に関する基本方針の表明	
令和4年8月 共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項（案）の公表	
担当部署名	青森市 市民病院事務局総務課 青森市 企画部財政課



要望項目	ホタテ残渣処理事業への協力について（継続）		
要望先	国		
	県	農林水産部（水産振興課）、環境生活部（環境政策課、環境保全課）	
	その他		
関係法令		事業主体	平内町

要 望 事 項 の 内 容
<p>本町の主要産業である水産業は、昭和 40 年代に確立したホタテガイの天然採苗により生産が飛躍的に伸び、令和 3 年のホタテガイの水揚げは約 73 億円、ナマコ等の魚介類を含む総額では約 79 億円となっています。また、関連産業としてホタテガイを加工する事業者も多く、その取扱い金額は約 48 億円(令和 2 年)となっています。</p> <p>一方、ホタテガイの生産は海況の変動に影響を受けやすく、夏場の高水温や冬期間の波浪で数年に一度は大量へい死を引き起こしてしまうため、単年度で出荷できる半成貝（籠養殖の一年貝）が大幅に増えており、養殖籠への付着物の増える大きな要因となっています。その結果、籠を洗浄したときに生じる残渣が大量に発生しており、令和 3 年度においては 3,538 トンとなっており、その処理については八戸市の太平洋金属株式会社でリサイクル原料として、岩手県九戸村のいわて県北クリーン株式会社で焼却での処理を委託している状況です。</p> <p>一般廃棄物である養殖残渣は、自治体内で処理することが求められており、現在委託して行われている焼却処理は一時避難的なもので、当町の処理施設ができるまでの条件も処理先の自治体から付されていることから、できるだけ早い時期に町内で処理できる環境を整えることが求められています。</p> <p>また、水産加工の過程で発生する非可食部分であるウロ等の焼却処理についても事業者が共同で行っているものの、設備設置から相当の年数が経過し、更新が迫られている状況です。</p> <p>町では、まずは残渣処理方法について知ってもらうため、令和 4 年 1 月に 1 大学 6 社を招いた勉強会を開催して、町議会議員、平内町漁業協同組合、平内ホタテ貝殻処理協同組合、町関係課職員が参加しました。</p> <p>各社から提案された内容については様々な方法で処理が行われることから、具体化までには引き続き調査、検討が必要であり、時間がかかる状況です。</p> <p>今後は、検討会等の立ち上げを考えながら、①処理方法の検討、②先進地事例視察、③建設・運営方式の検討、④建設場所等の検討を進めていく必要があります。</p> <p>つきましては、当町の主要産業のみならず、県全体の主要産業ともいえる水産業における大きな課題の解決のため、次の事項についてご指導や新しい情報等のご教授をお願いいたします。</p> <p><b>1. ホタテ残渣処理事業に関する助言</b></p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
昭和 40 年代	ホタテガイの天然採苗による養殖業の確立
平成 10 年度	平内町廃棄物処理施設 竣工（国庫補助金 補助率 1/2）
平成 10 年度	ほたて貝ウロ焼却施設 竣工（国庫補助金 補助率 1/2）
平成 12 年度	外の沢埋立地内 平内町廃棄物処理施設（ホタテガイの残渣処理施設） 開始
平成 25 年度	洋上洗浄機 23 基導入（国庫補助金 補助率 1/2）
平成 26 年度	全自動耳吊機 34 基導入（国庫補助金 補助率 1/2）
平成 26 年度	外の沢埋立地内 平内町廃棄物処理施設（ホタテガイの残渣処理施設） 休止 （施設修理費増や燃料費の高騰により採算が取れなくなったため）
平成 29 年度	洋上籠洗浄機 20 基・全自動耳吊機整備 20 基導入（国庫補助金 補助率 1/2）
担当部署名	平内町 水産商工観光課 平内町 町民課



要望項目	県道 14 号線 主要地方道今別蟹田線(平坦化整備)整備促進について (継続)		
要望先	国		
	県	県土整備部 (道路課)	
	その他		
関係法令	道路法、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律	事業主体	青森県

要 望 事 項 の 内 容
<p>主要地方道今別蟹田線 (県道 14 号) は、青森市や西北五地域への生活道路として物資や人的交流など地域住民の生活を支える唯一の主要道路であります。平成 28 年 3 月には北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業し、津軽半島への観光ルートや二次交通など重要路線であります。</p> <p>しかし、現状は急勾配でカーブが続く難所区間となっており、特に冬期間は積雪や路面凍結を解消するため散水消雪施設が整備されていますが、豪雪や低温時には残雪によるわだちやこぶの発生により、安全で快適な運転ができない状況にさらされています。</p> <p>また、生活道路としての役割も大きく、道路使用者は峠道による車両燃費悪化は不可避となっており、さらに昨今の国際情勢の影響によるガソリン価格の高騰のあおりが直撃するかたちとなっております。</p> <p>そして、災害等が発生した場合は緊急輸送道路としての重要道路であり、避難駅指定の奥津軽いまべつ駅など、多様な対応が求められる状況であるため、平坦化計画を踏まえた新設ルートでの早期整備が必要であります。</p> <p><b>1. 主要地方道今別蟹田線 (県道 14 号) の平坦化計画を踏まえた新設ルートでの早期整備</b></p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項																				
<p>○要望活動</p> <p>平成 5 年 5 月 建設省により県道今別蟹田線が主要地方道今別蟹田線に指定</p> <p>平成 26 年 12 月 青森県知事要望実施</p> <p>令和 2 年 1 月 青森県県土整備部長要望実施</p> <p>令和 3 年 10 月 青森県県土整備部長要望実施</p>																				
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【北海道新幹線奥津軽いまべつ駅乗降者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>31,000 人</td> <td>27,600 人</td> <td>15,327 人</td> <td>16,200 人</td> </tr> </table> <p>※今別町企画財政課独自集計</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【道の駅いまべつ 利用者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>136,920 人</td> <td>119,458 人</td> <td>119,116 人</td> <td>92,016 人</td> <td>86,916 人</td> </tr> </table> <p>※今別町企画財政課独自集計</p> </td> </tr> </table>	<p>【北海道新幹線奥津軽いまべつ駅乗降者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>31,000 人</td> <td>27,600 人</td> <td>15,327 人</td> <td>16,200 人</td> </tr> </table> <p>※今別町企画財政課独自集計</p>	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	31,000 人	27,600 人	15,327 人	16,200 人	<p>【道の駅いまべつ 利用者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>136,920 人</td> <td>119,458 人</td> <td>119,116 人</td> <td>92,016 人</td> <td>86,916 人</td> </tr> </table> <p>※今別町企画財政課独自集計</p>	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	136,920 人	119,458 人	119,116 人	92,016 人	86,916 人
<p>【北海道新幹線奥津軽いまべつ駅乗降者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>31,000 人</td> <td>27,600 人</td> <td>15,327 人</td> <td>16,200 人</td> </tr> </table> <p>※今別町企画財政課独自集計</p>	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	31,000 人	27,600 人	15,327 人	16,200 人	<p>【道の駅いまべつ 利用者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>136,920 人</td> <td>119,458 人</td> <td>119,116 人</td> <td>92,016 人</td> <td>86,916 人</td> </tr> </table> <p>※今別町企画財政課独自集計</p>	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	136,920 人	119,458 人	119,116 人	92,016 人	86,916 人	
平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度																	
31,000 人	27,600 人	15,327 人	16,200 人																	
平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度																
136,920 人	119,458 人	119,116 人	92,016 人	86,916 人																

担当部署名	今別町 産業建設課
-------	-----------

県道 14 号線 主要地方道今別蟹田線（平坦化整備）整備促進について



要望項目	世界遺産（北海道・北東北の縄文遺跡群）の保存・活用について（継続）		
要望先	国	文部科学省（文化庁）	
	県	教育庁（文化財保護課）、観光国際戦略局（観光企画課）	
	その他		
関係法令	世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）、文化財保護法	事業主体	青森県、外ヶ浜町

要 望 事 項 の 内 容
<p>北海道・北東北の縄文遺跡群は、1 万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える文化遺産です。北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する 17 の遺跡で構成されています。その構成資産のひとつである当町の大平山元遺跡は、縄文時代開始直後の遺跡であり、旧石器時代の特徴をもつ石器群とともに、土器と石鏃が出土しています。その土器に付着した炭化物の年代測定の結果、15,000 年以上前のものであることが明らかにされており、移動に適さない土器の出現は定住の開始を示し、遊動から定住へと生活が大きく変化したことを知る上で重要な遺跡です。</p> <p>昨年 7 月末、世界遺産委員会が開催、世界遺産一覧表に記載され、正式に世界文化遺産に決まりました。コロナ禍ではありますが、たくさんの来訪者が見込まれ、経済効果等が期待されることは、これまでの世界遺産地域が物語っています。そのため、来訪者の受入れ態勢の整備が重要であり急務と考えています。これまでも整備などの準備を進めているところですが、史跡大平山元遺跡の活用を推進するために、次の事項について特段のご配慮をお願いしたい。</p> <p><b>1. 「大平山元遺跡」の保存活用のための整備促進について支援</b>  <b>2. 世界遺産を中心とした誘客促進のための宣伝強化</b></p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
平成 19 年 5 月	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進の共同提案に参加
平成 21 年 1 月	暫定一覧表に記載
平成 25 年 3 月	史跡指定
令和 元年 7 月	文化審議会世界遺産部会にてユネスコ推薦候補に選定
令和 元年 12 月	関係省庁連絡会議にてユネスコへの推薦を決定、閣議了解、推薦書を文化庁へ提出
令和 2 年 1 月	ユネスコへ推薦書を提出、受理
令和 2 年 9 月	イコモスの現地調査
令和 3 年 5 月	イコモス勧告
令和 3 年 7 月	世界遺産委員会にて記載
担当部署名	外ヶ浜町 教育委員会社会教育課世界遺産対策室

要望項目	たままつ海岸の浚渫について（新規）		
要望先	国		
	県	県土整備部（河川砂防課）	
	その他		
関係法令		事業主体	青森県

要 望 事 項 の 内 容
<p>蓬田海岸はCCZ整備事業で離岸堤、階段式堤防やたままつ海の情報館が整備され、夏は海水浴や玉松海まつりが開かれており、現在、青森県が管理を行っております。</p> <p>しかし、トンボロ現象により離岸堤と階段式堤防が砂で繋がり、そこに、海草や漂着物が流れ着いて堆積し悪臭を発生させ住民生活へ多大な影響を及ぼしております。</p> <p>そこで、東青地域県民局地域整備部に海岸清掃実施届けを提出して、村が毎年海草などの撤去を行っておりますが、抜本的な解決には至っておりません。</p> <p>つきましては、次の事項について特段の御配慮をお願いいたします。</p> <p><b>1. たままつ海岸の浚渫</b> <b>2. 離岸堤の改修</b></p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項			
平成 12 年	8 月	蓬田海岸CCZ竣工	
平成 27 年	7 月	たままつ海岸清掃	256 千円
平成 28 年	7 月	たままつ海岸清掃	244 千円
平成 29 年	7 月	たままつ海岸清掃	275 千円
平成 30 年	7 月	たままつ海岸清掃	332 千円
令和 元年	7 月	たままつ海岸清掃	577 千円
令和 2 年	7 月	たままつ海岸清掃	766 千円
令和 3 年	7 月	たままつ海岸清掃	725 千円

担当部署名	蓬田村 建設課
-------	---------



